

## 横浜市立小学校給食によるアレルギー事故について

## 1 概要

平成 28 年 6 月 28 日午後、市内の複数小学校から給食喫食後、アレルギー症状の児童が出ていると連絡を受けました。このため、確認を進めたところ、最終的に同一メニューを提供している AB ブロック（特別支援学校を除く、鶴見区の全部、神奈川区・港北区・都筑区・青葉区の一部 全 78 校）中の 13 校 17 名にアレルギー症状が出ていることが判明しました。

注：横浜市では、市内小学校を A～H の 8 ブロックに分け、AB、CD、EF、GH の組み合わせで同一献立を提供しています。

## 2 主な症状

6 月 28 日の給食後、夕方までに、鶴見区 4 校、神奈川区 3 校、港北区 4 校、都筑区 2 校、計 13 校の小学 1 年から 6 年の児童 17 名から、のどの違和感・かゆみ、発疹等についての訴えがありました。

このうち 2 名については発症後直ちに救急搬送をしましたが、1 名は当日中に帰宅、もう 1 名は経過観察のため入院となり、本日午前中に退院しました。その他の 15 名は、のどのかゆみや違和感、発疹や腫れといった症状はありましたが、入院に至るまでの症状にはなりませんでした。

本日午後 3 時時点で、全員のアレルギー症状がすでに治まっていることを確認しております。

## 17 名の学年・性別内訳

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
男児	1	1	5	1	1	1	10
女児	0	1	3	0	1	2	7
計	1	2	8	1	2	3	17

## 3 原因食品

各区生活衛生課と学校の現場確認によって患者の共通食材であるコロッケが疑われたため、納入業者に(公財)よこはま学校食育財団（以下、「食育財団」という）から確認したところ、乳アレルギーを避けるため、材料に含めないように指示していた脱脂粉乳を混ぜて製造していたことが、業者の当日の製造記録から判明しました。詳細については、現在、製造業者所在地の保健所及び食育財団が確認中です。

## 4 6 月 28 日の AB ブロックの提供献立

丸パン、コロッケ、卵とトマトのスープ、ボイルドキャベツ、牛乳

【コロッケについては、卵・乳を使わずに製造するよう指示し、納品されることとなっていました。】

## 5 コロッケの製造業者

株式会社新サカイヤフーズ（北海道二海郡八雲町三杉町 13-5）

## 6 納入業者

大京食品株式会社（横浜市神奈川区守屋町 1-1-4）

## 7 現時点での対応状況

- (1) 教育委員会事務局及び食育財団において、6月28日午後3時45分にABブロック78校へ注意喚起文をFAX送信しました。
- (2) 昨日以降、各区福祉保健センターが順次調査を実施しました。本日午後5時過ぎに衛生研究所の検査において、昨日採取した当日のコロッセ5検体全てから、乳の陽性反応が検出された旨の連絡を受けました。
- (3) 食育財団において、業者への聞き取り調査及び回収コロッセの調査を実施中です。

お問合せ先		
横浜市教育委員会事務局健康教育課長	茨 志麻	Tel 045-671-3234、3204
(公財) よこはま学校食育財団事務局長	神原 隆司	Tel 045-662-2541